


柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表  
(耐震設計方針関連)
 についてご説明。

No.	審査日	指摘事項	回答			
			回答状況	回答日	回答資料	回答
1	2016/3/4	基礎の傾斜について、基本設計段階の目安値である1/2000を上回る結果となっていることから、基礎地盤の評価だけでなく、設備側の評価も加えた総合評価が必要であるため、その設計方針を明確にすること。	本日回答		資料1-1-3	4条-別紙10 基準地震動による評価を要求される施設に対して、基礎地盤の傾斜を確認し、1/2000を超える施設については傾斜の影響を考慮した評価を実施する方針を記載した。また、原子炉建屋を例とした傾斜の影響を考慮した耐震性評価方針を記載した。
2	2016/11/29	不確かさの影響検討において、「基本的に個別に影響を確認する」という記載を見直すこと。	本日回答		資料1-1-3	4条-別紙1-23 実際の検討ケース選定の考え方を踏まえて記載を見直した。
3	2016/11/29	上位クラス電路に対する下位クラス施設からの波及的影響の検討について、5号炉緊急時対策所の電路についても波及的影響を検討して示すこと。	本日回答		資料1-1-3	4条-別紙8-参考資料1-1 評価対象として、5号炉原子炉緊急時対策所の電路を追加し、評価結果を記載した。なお、当該電路は一部建屋外に露出して敷設されていることから、P29～32、P40～45に建屋外下位クラス施設の不等沈下及び損傷・転倒・落下等に対する評価を追加した。
4	2016/11/29	5号炉緊急時対策所について、設計検討が済んでいるものと今後検討が必要となるものを整理して示すこと。	本日回答		資料1-1-3	4条-別紙8-参考資料3(4/4) 第3表に5号炉緊急時対策所関連施設の検討進捗状況を記載した。
5	2016/11/29	荒浜側防潮堤の申請取下げと3号緊対から5号緊対への変更に伴う波及的影響の検討の修正については、検討対象の選定及び検討の方法、適切性及び網羅性の確認の考え方について説明すること。	本日回答		資料1-1-3	4条-別紙8-参考資料3(1～2/4) 第1表に検討対象から削除した施設を、第2表に検討対象に追加した施設を記載した。また、検討対象の評価方法は他の上位クラス施設と同様であることを記載した。
6	2016/11/29	資料の掲載図は、不等沈下が生じないこと等が判断できるような説明性の高い図とすること。	本日回答		資料1-1-3	4条-別紙8-添付資料5 掲載図について、建屋直下のMMRや地盤改良土の下部の地盤を判読できるような図に修正した。
7	2016/11/29	計装配管の波及的影響に対する設計について、例としてSクラスとBクラスの配管の接続部が示されているが、Bクラス破損時の影響が、その「Sクラスの機能」によって当該Sクラスに波及しない、というのは波及的影響の説明にならないので、Bクラスの破損時の影響が「Sクラスの機能」自体に波及しないことを説明すること。	本日回答		資料1-1-3	4条-別紙8-参考資料1-2(2～3/3) 原子炉圧力容器へ接続されている耐震Bクラスの計器については、その配管に接続されている過流量阻止弁に対して、上位クラス施設の一部として損傷・転倒・落下の影響有無を検討していることを記載した。 また、耐震Sクラスの機能が要求されるのは原子炉圧力容器から過流量阻止弁の間であるが、過流量阻止弁から計装配管を接続するアダプタの間にある配管サポートまでSクラス相当の設計としていることから、配管サポートが地震により構造健全性を失うことはなく、Bクラス配管が破断したとしても、その機械的荷重が過流量阻止弁の機能に影響を及ぼすことはないと考えられる旨記載した。
8	2016/11/29	上位クラスと隔離されずに接続するベント配管の閉塞の可能性については、ベント配管の周辺下位クラス設備による波及的影響を確認すること。	本日回答		資料1-1-3	4条-別紙8-40 上位クラス施設と隔離されずに接続するベント配管の閉塞に関して、現地調査にて確認する方針を記載した。  4条-別紙8-60 現地調査の結果、波及的影響を受けないことを確認した旨記載した。  4条-別紙8-参考資料2 上位クラス施設と隔離されずに接続する個々のベント配管に対する検討結果を記載した。